

湯呑み一刀彫り

1 湯呑の注文（食事注文書に記入）

湯呑生地	丸型（径 8.7 cm・高さ 5.5 cm）	590円／1個（焼成代含）
------	------------------------	---------------

※ 破損した生地については、有料にて交換いたします。（1個190円）

ア 作品は1か月ほどで焼成できます。

イ 完成品の配達をご希望の場合は有料（送料着払い）となります。

2 準備するもの

利用者で準備するもの	鉛筆（2B）、タオル（雑巾）、新聞紙
自然の家貸出物品（無料）	切出し刀（彫刻刀）、作業トレー

3 実施場所

- ・研修室、講堂、体育館

4 一刀彫りの進め方

① 湯呑を食堂事務室で受取り、活動場所に運ぶ。

② 制作順序

ア 説明及び準備（15分）

- ・机上に新聞紙を広げ、タオル・切出し刀（彫刻刀）・作業トレーを準備し湯呑生地を配布する。
- ・湯呑生地の口の部分をわしつかみにしない。（割れやすい）

イ 図案を決める（30分）

- ・言葉、柄、場所、制作年月日、名前（イニシャル）などを入れる。

ウ 下絵を書く（20分）

- ・2Bで下書きをする。（作品には鉛筆の色は出ない。）
- ・同じ太さの線だけでなく強弱をつけるとよい。

エ 彫る（40分）

- ・傷をつけないように、割らないようにやさしく気を付けて彫る。（爪を短くする。指輪をはずす。）
- ・ぬれた手でさわらないようにする。（上薬がとける）
- ・やわらかい物の上で彫る。（タオル・雑巾を下に敷く）
- ・一気に彫る。（ゆっくり彫ると力が入りすぎる）
- ・刀の角度にそってすべるように彫る。
- ・深く掘る。（なぞって太くしたり、深くしたりすると陰影がつく）

③ 彫った作品を箱に入れ、食堂事務室へ運ぶ。

※箱に作品を入れる時、湯呑みをふせて入れる。

④ 片付け

- ・タオル（雑巾）、新聞紙はビニール袋へ入れ、持ち帰るかごみ置場へ運ぶ。
- ・掃き掃除、机上の雑巾がけをする。

5 作品の受け取り

① 約1ヶ月後に焼きあがります。（釜に入れる数がそろわない場合は日数がかかりますのでご了承ください。）

② 自然の家食堂事務所または(株)人水陶苑に受け取りに来て頂くか、着払宅配便を利用するか選択して下さい。

③ 受け取る場合は、受け取り日時を自然の家食堂事務所から連絡します。

人水陶苑 TEL (0569) 35-3805

株式会社みはま TEL (0569) 88-5585



常滑焼朱泥の特徴について

朱泥は焼き物の4分類（土器、陶器、せつ器、磁気）の内、せつ器という種類になります。吸水性がないので施釉しないものが多く、たたくと金属音がします。

低い温度で焼くと焼き締まり、酸化焼成では濃い朱泥に、還元焼成では素地土に含まれる鉄分が素地肌に出て黒い斑点というか艶のある黒っぽい色として出たりします。このような焼き上がりの変化を窯変、又は曜変と言って、個性的で味わい深い作品として賞美されたりします。

今回ご利用いただきました、朱泥湯呑みにつきまして、色が黒く焼きあがった作品は、^{きじ}生地の保存状態、乾燥度、窯に入れる時に配置した場所など、さまざまな条件に寄って出た、^{ようへん}窯変と思われるます。

以上により、色の違いについてはどうかご理解いただきますよう、お願いいたします。

「^{ようせいご}焼成後に表れる^{かひ}亀裂」について

湯呑みの生地は、机の上にトンと置いた時のほんの小さな衝撃でも、肉眼では見えない小さな^{かひ}亀裂が生じることがあります。また、彫っている時、無意識で^{きじ}生地に圧力をかけてしまった時などにも、肉眼では見つけることの出来ない小さな^{かひ}亀裂が入ってしまうことがあります。そのような作品は、焼き上がって窯から出してみると、焼成による^{きじ}生地の^{しゅうしやく}収縮に寄って、一見してわかる^{かひ}亀裂となって^{あわれ}表れてきます。細心の注意を払って取り扱っていたつもりでも、こればかりは焼き上がりを見るまでは判断できないことがほとんどです。

このような作品が出来てしまった場合、残念ながら湯呑みとして使用していただくことは出来ません。しかし、せっかく作っていただいた作品なので、別の用途を考えていただき、思い出の作品として残していただければ、と思います。

まずは^{かひ}亀裂の部分を補修して、怪我のないように対処した後に
例えば、ペン立て、オブジェ、一輪挿し、などに見てはいかがでしょうか？